

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	つくば市家庭教育支援チーム (子育て休憩室)
活動開始年度	平成10年度
活動拠点	つくば市吾妻交流センター
活動範囲	つくば市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (市こども課の「市内子育て支援事業の一環」の位置づけで、交流センター利用の年間予約・利用料金の減免措置を受けている)
組織体制	4 人 元民生委員 2人、元保育士1人、
具体的な活動内容	乳幼児とその保護者の交流の場「井戸のない井戸端」として開催 ・毎週水曜日 10 時～12 時の間であれば出入り自由 ・ママ友たちの交流のきっかけの場 ・場所守り(ボランティア)はお母さんたちの橋渡し役と子どもたちをあやしたり、遊んだりすること(手遊び・子守歌)によって、子育ての楽しさを自然に伝えるようにしている。また先輩として、世間話の中で、相談を受け、一緒に考える時間を作っている。 ・できるだけ季節の行事を話題にし、折り紙などで飾り物などを作る。 ・年に三回、市保健センターから保健師・栄養士・歯科衛生士による相談会を開催
活動を通して感じていること (成果、課題など)	☆成果 ・ボランティアも一緒に育児について話題にすることにより、周りの人も話題に加わり「一人で悩んでいるのではない」という安心感と仲間意識が生まれ、休憩室以外での交流が深まっている。 ・発達不安をボランティアが聴き、担当機関につなげることが出来た。 ・休憩室を卒業(子どもたちが室内から外へと行動が広がるので)後も、お母さん同士の交流が続いている。 ・卒業したお母さんが、おもちゃや衣類のおさがりを持って、遊びに来てくれる。

★課題

・休憩室まで足を運べないお母さんたちに、何ができるだろ？